

日本は食の安全を守れるか

— 消費者と農家のこれから

パトリシア・L・マクラクラン
(テキサス大学オースティン校教授)

2020年 4/10 (金)

6:00 ~ 7:30 pm

国際文化会館 岩崎小彌太記念ホール

用 語: 日本語

参加費: 無料 (要予約)

共 催: アメリカ・カナダ大学連合日本研究センター

日本財団

協 力: 国際文化会館

終戦直後の急激で過剰な工業化から2011年の福島原子力災害に至るまで、日本人が国産食糧供給の安全性に疑いを持つのに十分すぎる根拠がありました。それに対し、農業協同組合と消費者団体は、食糧の輸入制限や伝統的専業農家の保護など、厳格な食糧安全政策のために協力して来ましたが、消費者嗜好の変化やグローバル化、そして深刻な農村の人口問題により、その同盟関係と政策アジェンダは今や困難に直面しています。戦後の消費者動向と近代農業改革双方への独自調査に基づき、消費者と農家の提携原理と歴史的発展、日本の食糧安全性の将来に与える影響をマクラクラン教授が探ります。

パトリシア・L・マクラクラン 1996年にコロンビア大学で博士号(政治学)を取得。現在、テキサス大学オースティン校の政治学・三菱重工日本研究教授。著書に『Consumer Politics in Postwar Japan: The Institutional Boundaries of Citizen Activism』(Columbia University Press, 2002) 『The People's Post Office: The History and Politics of the Japanese Postal System, 1871-2010』(Harvard University East Asia Center, 2011)があり、現在、日本の農業改革についての共著を執筆中。日米友好基金、日米文化教育交流会議、国際交流基金日本研究米国諮問委員会の委員であるとともに『The Journal of Japanese Studies』の編集・評議委員も務める。1991-92年にアメリカ・カナダ大学連合日本研究センターで日本語を学ぶ。



● 会場

国際文化会館 岩崎小彌太記念ホール

106-0032 東京都港区六本木5-11-16 TEL: 03-3470-3211

● お問い合わせ

アメリカ・カナダ大学連合日本研究センター

220-0012 神奈川県横浜市西区みなとみらい 1-1-1

TEL: 045-223-2002 E-mail: events@iucjapan.org

● ご予約・申し込み

<https://iucjapan.org/html/events.html>



(会場) 国際文化会館 東京都港区六本木5-11-16

